

時計台が見つめた「昭和」

— 激動の歴史を振り返る —



滝学園の本館が竣工したのが昭和元年。以来、この江南の地で昭和・平成・令和の3つの元号の時代を見つめてきました。

中でも一番長く見つめた時代が「昭和」です。今年、2025年は「昭和100年」に当たります。

改修工事も完了し、昭和の趣を色濃くよみがえらせた滝学園の講堂（昭和8年竣工）で、過ぎし「昭和」の意義を確認し、激動の歴史に思いを馳せてみませんか。

講師 京都産業大学法学部教授 久禮旦雄先生（日本法制文化史）

講師紹介…日本古代における神祇・祭祀の法制度、皇位継承・皇室制度の歴史などを研究している。その関係から、平成から令和の代替わりに際しては、テレビ・新聞などから解説を多数依頼される。以後、京都の皇室関係の寺社などの解説・案内にも仕事の領域を広げている。

日時・会場

令和7年12月13日(土)13:30～15:00(開場13:00)

滝 学 園 講 堂

※駐車場はございませんので、公共交通機関等のご利用をお願いいたします。

※聴講の方法…本紙二次元コードまたは滝学園ホームページよりお申し込みください。電話(☎0587-56-2127)でもお申し込み可能です。二次元コード、ホームページにてお申し込みの場合、返信メールが届いた時点で申し込みは完了しています。当日、会場にお越しください。

※受け付け期間…令和7年11月27日(木)～令和7年12月10日(水)

※聴講無料、自由席。 ※会場以外の施設への立ち入りは固くお断りいたします。 ※定員200名。

主 催：学校法人滝学園 滝中学校・高等学校

後 援：江 南 市 教 育 委 員 会

